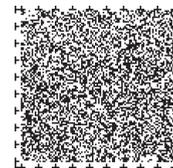


# 国立障害者リハビリテーションセンターの 組織改正について



平成22年4月1日から、国立障害者リハビリテーションセンターの組織が改正されました。

主な内容は以下のとおりです。

## 1. 国立更生援護機関の機能の一元化に伴う設置

統一的な方針の下での質の高いサービスの提供及び時代のニーズに即応できる体制の整備を図るため、国立光明寮、国立保養所、国立知的障害児施設を国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局（更生訓練所より改名）の内部組織として設置。

## 2. 高次脳機能障害者に対する生活訓練の充実に伴う体制強化

高次脳機能障害者に対する生活訓練の利用者増に伴い自立訓練部の体制を強化するため、自立訓練課を廃止し、機能訓練課及び生活訓練課を設置。

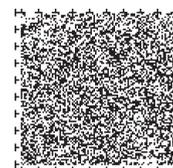
## 3. 障害者の生活習慣病予防対策の実施等病院機能の充実に伴う体制整備

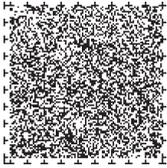
障害者の生活習慣病の予防のために健康増進センターを設置するとともに、科学的根拠に基づく安全かつ効率的な医療の提供、臨床データの評価・分析、臨床技術の研究開発等の病院機能を充実させるため、診療部、第一機能回復訓練部、第二機能回復訓練部、第三機能回復訓練部及び医療相談開発部を廃止し、第一診療部、第二診療部、臨床研究開発部及び健康増進センターを設置。

## 4. 新たな障害分野（発達障害、高次脳機能障害）等に関する研究体制の充実

発達障害、高次脳機能障害等の脳機能障害、義肢装具に関する研究体制の充実に図るため、脳機能系障害研究部を設置し、補装具製作部を廃止し、義肢装具技術研究部を設置。

組織図は、次ページのとおりで。

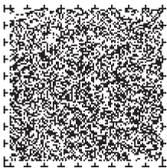
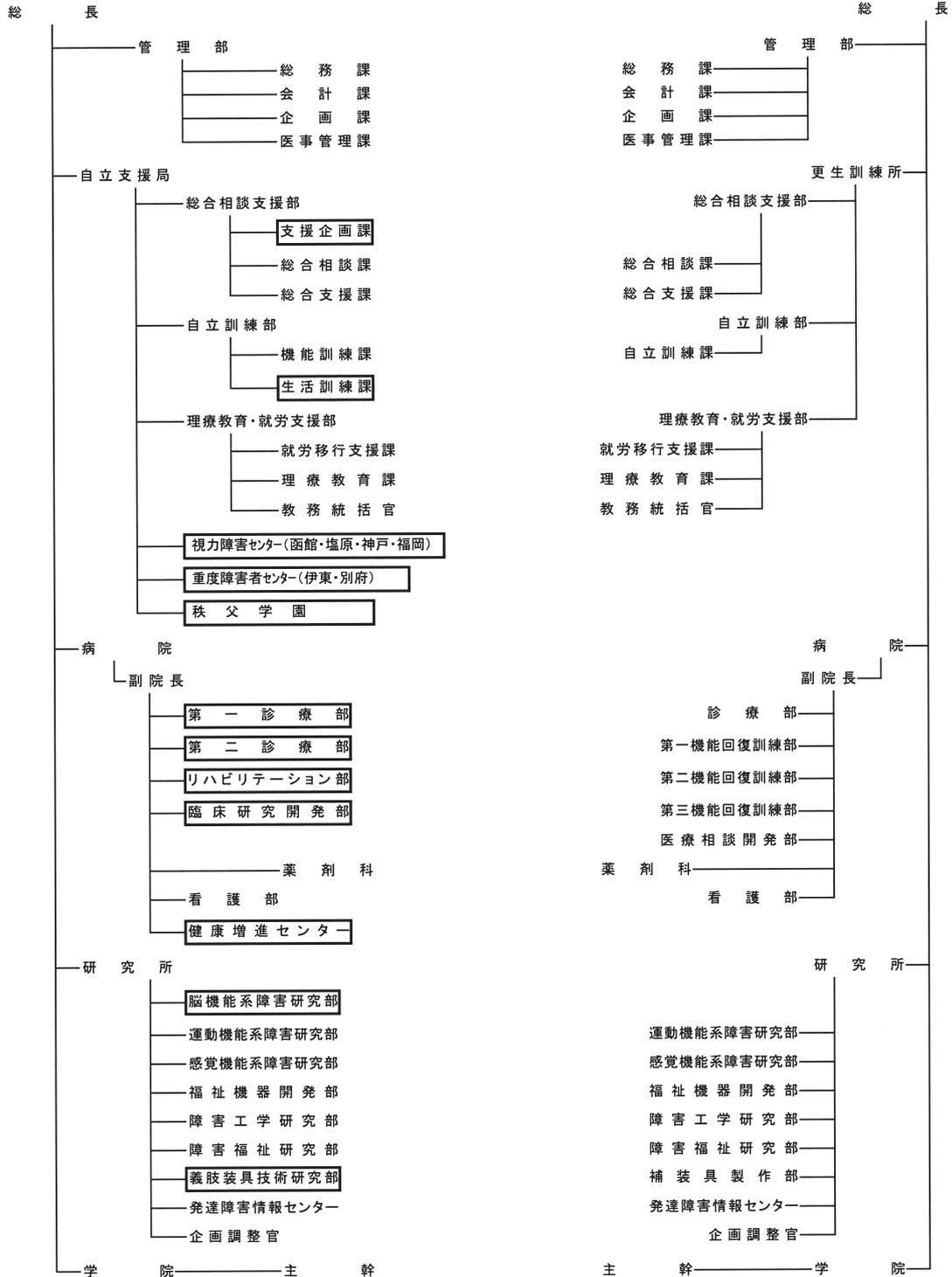


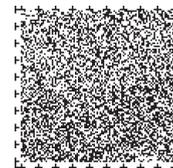


# 平成22年4月1日 組織改正

## 【改正後】

## 【改正前】





## 病院・本館等の建替えについて

管理部会計課

本工事は、当センターが創立30周年を迎えた平成21年度補正予算で予算化されました。

平成26年度までに現在の本館の前に本館・講堂棟を建設し、新本館へ引っ越した本館跡地を取り壊して、病院棟を新本館棟（講堂を含む）と1階と2階で結ばれた一体的な建物として建設し、今の病院本館（病院新館と画像診断棟は模様替で他部門で使用）を取り壊し、駐車場とする予定です。

現在の病院本館（昭和55年6月竣工）は、耐震診断でaランク、同様に本館（昭和52年12月竣工）もaランクで、共に「危険性が高い」とされ、建替えの予算を要求した結果、補正予算で認められたものです。

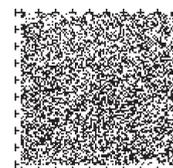
初年度の平成21年度においては、基本設計を委託する業者の選定から始まり、途中政府全般の事業仕分け等（施設整備費の見直し）で、執行の一時凍

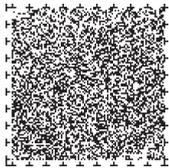
結を経た後、平成21年10月30日に設計業務委託の契約を締結し、21年度末までに基本設計を行うこととなりました。

現在の病院は、病院本館、病院新館、画像診断棟の三つの建物からなっており、これらの機能を集約したりハビリテーション病院としての基本設計を行う為、病院スタッフからなるプロジェクトチームを結成し、各階層の構成等（各部門の配置等）を議論し調整を行いました。

また、同様に本館プロジェクトチームも講堂の規模や各階層の構成等の調整を行いました。その結果、入院患者を要する病院は免震構造で、本館（講堂を含む）は耐震構造とし、基本設計を完了しました。

今後は、実施設計を行い、平成26年度までに建替えを行う予定です。

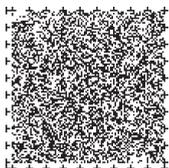


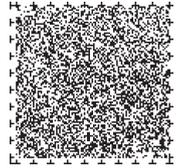


〔お知らせ〕

## 幹部職員人事異動

新 職 名	氏 名	前 職 名
研究所長 事務取扱障害工学研究部長 事務取扱脳機能系障害研究部長	加藤 誠志	研究所障害工学研究部長
自立支援局総合相談支援部長	黒沢 正俊	社会・援護局総務課長補佐
自立支援局理療教育・就労支援部長	飯塚 敏幸	国立塩原視力障害センター所長





## 「コバンザメ」

元更生訓練所理療指導室長 川政 勲

コバンザメはスズキ目コバンザメ科の魚で、コバンザメなどと凶悪なサメの仲間のような名を持っているが、サメの仲間ではない。

大きさは1メートルにもなるものも居るが、頭部に第一背鰭の変形した吸盤を持ち、カジキ類、サメ類などの大型海産生物に吸着生活をして、そのおこぼれで生活している、私たちの考え方からするとなんとも情けない魚である。

熱帯から亜熱帯、温帯に分布し、日本近海で見られるのは8種、その中で一番多いのが本種のコバンザメである。

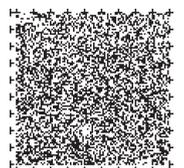
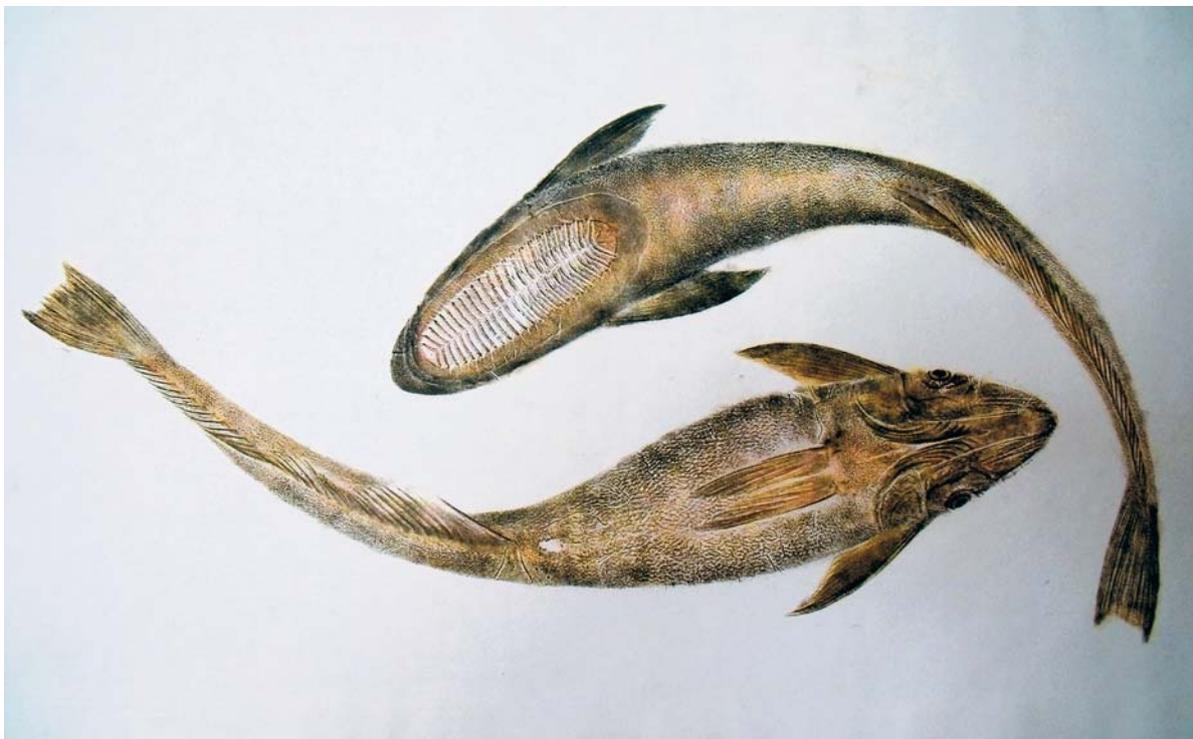
作品のコバンザメは延縄漁船のサメ漁のときのサメの腹に付いていたものである。サメを海中から引き上げて船の中に取り入れる際、激しく暴れるため

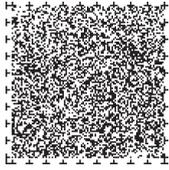
コバンザメは弾き飛ばされて甲板に張り付いている。蹴飛ばしても何をしていても中々剥がれない。コバンザメは引っ張っても取れないので頭の方へ押すと意外に簡単に取れる。

コバンザメの習性を人間社会に当てはめ、人間界において勢力、人気のある者に寄って、その威を借りたり、「おこぼれ」に預かった、擦り寄ると看做される人物に対し、軽蔑の意を込めた比喻表現として用いられる。

大型規模商業施設や遊園地、公共施設など多数の人を集める施設の近所で営業し客を誘導する商法を「コバンザメ商法」と呼ぶこともある。

陽だまりに女ばかりの花の宴 いさお





# 平成21年度

## リハビリテーション実施状況（3月報告）

### 1 利用者状況

#### (1) 昼間実施のサービス状況：月末人員

課 程		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
自立訓練（機能）	H.21	15	17	19	25	27	26	25	24	26	25	26	29	23.7
	H.20	11	13	13	15	11	12	12	13	14	18	18	15	13.8
自立訓練（生活）	H.21	10	9	9	7	6	10	9	10	8	9	10	9	8.8
	H.20	10	10	11	11	8	10	11	10	8	10	8	10	9.8
就労移行支援	H.21	56	55	53	69	63	74	66	52	66	55	60	63	61.0
	H.20	50	54	49	61	57	62	75	59	61	66	60	54	59.0
就労移行支援（養成施設）	H.21	78	77	76	75	75	75	75	75	75	75	75	57	74.0
	H.20	85	84	84	83	82	81	81	81	80	80	56	56	77.8
合 計	H.21	159	158	157	176	171	185	175	161	175	164	171	158	167.5
	H.20	156	161	157	170	158	165	179	163	163	174	142	135	160.3

#### (2) 施設入所支援サービス状況：月末人員

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
施設入所支援	H.21	191	186	182	192	187	198	191	181	192	189	191	174	187.8
	H.20	189	196	194	206	194	200	210	202	200	208	185	167	195.9

#### (3) 独自事業等：月末人員

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
職業リハビリセンター	H.21	69	64	64	59	62	57	63	65	63	72	66	58	63.5
自動車訓練	H.21	14(9)	12(8)	15(12)	17(12)	12(6)	14(8)	12(6)	15(7)	14(8)	16(11)	14(7)	14(7)	14.1(8)
再理療教育クラス	H.21	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0.8
臨床研修コース	H.21	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0	4.6

※1 職業リハビリセンターについては施設入所支援を利用している者の内数である。

※2 ( ) は他の事業に属さない者の数である。

#### (4) 利用者数：月末人員

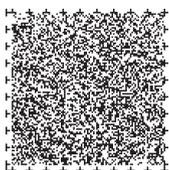
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
支援サービス	H.21	228	222	221	235	233	242	238	226	238	236	237	216	231.0
独自事業	H.21	14	13	17	17	12	13	11	13	14	17	12	7	13.3
利用者数総計	H.21	242	235	238	252	245	255	249	239	252	253	249	223	244.3

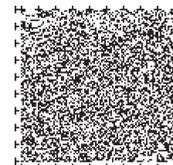
※1 支援サービスについては昼間実施サービス及び職業リハビリセンターの利用者合計数である。

※2 独自事業については自動車訓練のみの利用者、再理療教育クラス及び臨床研修コースの利用者の合計数である。

### 2 入院患者の状況（1日平均）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.21	121.0	107.4	102.5	102.2	107.7	105.3	95.6	88.3	81.6	89.5	100.0	108.3	100.4
	H.20	128.4	135.7	144.0	130.3	123.6	128.6	124.0	116.8	116.0	118.6	125.0	124.4	126.1
一 般	H.21	119.4	104.8	100.5	102.1	107.0	105.3	94.7	88.3	81.6	89.4	98.7	108.3	99.6
	H.20	128.0	135.6	142.7	130.3	123.6	127.5	122.5	115.7	114.8	117.0	122.8	123.4	125.1
利 用 者	H.21	1.6	2.6	2.0	0.0	0.7	0.1	0.8	0.0	0.0	0.1	1.3	0.0	0.8
	H.20	0.3	0.0	1.2	0.0	0.0	1.1	1.4	1.1	1.1	1.6	2.2	1.1	1.0





### 3 外来患者の状況（1日平均）

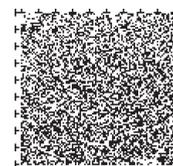
区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.21	154.9	162.1	151.0	152.6	147.9	151.5	146.6	145.2	151.5	143.6	135.3	135.7	148.0
	H.20	161.7	168.2	163.3	165.2	153.9	169.7	150.6	164.1	165.8	158.8	159.7	158.2	160.8
一 般	H.21	143.0	147.6	138.8	139.7	136.1	137.5	134.0	132.4	139.0	123.2	117.5	113.8	133.6
	H.20	149.6	154.1	150.0	151.4	141.1	155.2	138.1	151.3	150.7	143.2	145.9	145.3	147.2
利 用 者	H.21	11.8	14.3	12.2	12.9	11.7	14.0	12.6	12.7	12.5	20.3	17.7	21.9	14.4
	H.20	12.0	14.1	13.3	13.7	12.8	14.4	12.4	12.8	15.1	15.6	13.8	12.7	13.5

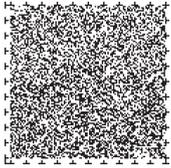
### 4 見学者の状況（実人員）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
医 療	国 内	113	212	341	182	396	440	59	63	46	138	146	91	175.8
	海 外	0	25	15	11	6	14	5	5	52	34	23	32	17.5
教 育	国 内	3	9	19	48	31	3	76	30	1	1	25	14	25.8
	海 外	0	0	9	0	0	0	0	11	1	2	0	0	1.8
福 祉	国 内	139	182	99	99	12	76	198	244	49	99	181	127	131.0
	海 外	1	0	29	10	2	6	0	3	13	2	1	2	5.3
職 業	国 内	22	0	0	0	3	29	0	0	0	0	22	0	5.8
	海 外	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0.2
そ の 他	国 内	54	19	72	35	15	57	16	74	38	92	6	36	40.8
	海 外	0	1	15	2	9	6	1	6	8	3	1	12	5.0
うち障害者 (再 掲)	国 内	4	5	13	20	1	2	1	1	0	3	21	5	5.9
	海 外	1	0	3	0	0	3	0	0	7	0	0	3	1.3
平成21年度 合 計	国 内	331	422	531	364	457	605	349	411	134	330	380	268	379.3
	海 外	1	26	68	23	19	26	6	25	74	41	25	46	29.7
	計	332	448	599	387	476	631	355	436	208	371	405	314	409.0
平成20年度合計		324	418	644	557	498	516	675	245	155	226	370	220	404.0

### 5 学院生の在籍状況（月末現在）

学 科	学 年	人 数
言 語 聴 覚 学 科	1 年	29
	2 年	(31) 0
	小 計	(31) 29
義 肢 装 具 学 科	1 年	9
	2 年	9
	3 年	(8) 0
	小 計	(8) 18
視 覚 障 害 学 科	1 年	4
	2 年	(3) 0
	小 計	(3) 4
手 話 通 訳 学 科	1 年	11
	2 年	(12) 0
	小 計	(12) 11
リハビリテーション体育学科	1 年	3
	2 年	(3) 0
	小 計	(3) 3
合 計		(57) 65





#### センターのロゴ

センターのロゴは、国際障害者年を記念し、入所者・職員から募集した作品の中から選定されたものです。

このロゴは、

- 1 リハビリテーションセンターを包む、リハビリに対する強い意欲・意思・たゆまざる努力、そして友情と信頼、
- 2 リハビリテーションセンターを出発点として、未来にまた広く社会各方面に向かって伸びようとする入所者・職員の姿、
- 3 手話の指、点字を読む指、職業、職能、理療に励む力強い5本の手指

をイメージ化したものです。

また、NRCO は NATIONAL REHABILITATION CENTER FOR PERSONS WITH DISABILITIESの頭文字です。

制作者 住田律夫（昭和56年制定）



上のシンボルマークは、WHO（世界保健機関）のマークです。

WHO（World Health Organization）とは、国連の仕事のうち、保健衛生の分野を受け持つ専門機関であり、その目的は、全人類の健康を守るために、世界の国々が力を合わせて努力しようとするものです。

国立障害者リハビリテーションセンターは、WHO指定研究協力センターの指定を受け、国際協力を行っています。

#### 「国リハニュース」編集事務局

国立障害者リハビリテーションセンター管理部企画課

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL 04-2995-3100 FAX 04-2995-3102

ホームページアドレス <http://www.rehab.go.jp/>

（国リハニュースはホームページに掲載されています）

※本誌へのご意見、ご要望等がございましたら、上記編集事務局宛

FAX又は、Eメール（[kikakuka@rehab.go.jp](mailto:kikakuka@rehab.go.jp)）をお寄せ下さい。

